

石川一心

働く仲間の団結と行動で 2025年を「成長と結実」の年に！

年頭にあたって
議長 近藤 充



2025年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、かなざわ地域協議会の活動に対し、ご協力いただき誠にありがとうございました。

昨年は、元日の令和6年能登半島地震からはじまり、9月の令和6年奥能登豪雨も相まって、大変な1年となりました。改めて犠牲になられた方々に哀悼の意を表すとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

被災地の復旧は着実に進んでいるものの、被災された方の心の傷は、なかなか癒える事はなく、そのためにも被災者に寄り添った取り組みが必要と感じて

います。

かなざわ地域協議会は、連合石川が掲げた「石川一心」のスローガンのもと、皆さんと共に復旧・復興に向けた被災地支援に取り組んで参りたいと存じます。

さて、昨年12月、かなざわ地域協議会は、金沢市・かほく市・内灘町・津幡町の2市2町に対し、各労組から各市町の生活者・労働者等の立場で寄せられた政策を要請書として提出し、自治体の予算化に向け、前向きな回答を要請して参りました。

その際、各市町に申し上げてきましたが、日本の人口は2010年を境に減少を続け、各自治体においても人口が減少している状況にあります。

2025年は、いわゆる「団塊の世代」の方が、75歳以上の後期高齢者となり、国民の5人に1人が後期高齢者となる年となります。本件は「2025年問題」とも言われていますが、これから後期高齢者を支えるため、社会保障、主に医療・介護、

年金等の課題が待ったなしの状態となっています。

これらの課題を解決するには、働き手や社会保障費等の財源の確保が必要となり、私たち働き手にとっても、働き方や社会保障費の負担に変化があるかもしれません。また、そもそも人口減少に歯止めをかけなければ、根本的な対処にはならないと危惧するものであり、各自治体においても人口減少の問題は、街の将来に影響を及ぼすものと考えております。

今もなお、国会等において社会保障制度改革について論議されていますが、私は、本筋として、将来に亘り働く者が、安心してその地域で生活し働き続けられる魅力ある街として、働きやすく、子育て・介護の支援を受けられる生活しやすい街の基盤整備が必要と考えております。

これからも、かなざわ地域協議会は、組合員の皆さんや連合推薦議員と連携し、生活者・労働者の視点から知恵を出し合いながら政策実現に向けて取り組

んで参りたいと思います。

また、これから2025春闘を迎える事になります。昨春闘では、長年続いたデフレからの脱却をめざす岐路として「ステージ転換」をめざし、33年ぶりとなる5%台の賃金の引き上げが実現しました。しかしながら、昨今の物価高により家計が圧迫されることにより、生活が向上したと実感する組合員は、少数に留まっているのでは無いかと思います。

2025春闘は、昨春闘で転換した新たなステージを定着させるためにも、更なる賃上げを実現させ、個人消費の拡大に繋げていくことが、組合員にとって賃上げを実感し、働き甲斐を増し、経済の活性にも繋がるものと思います。

かなざわ地域協議会としても昨年同様に春闘情報を発信するとともに、活性化に向け「職場交流旗」や「春闘川柳」に取り組んで参りたいと考えています。

最後に、2025年は乙巳（きのとみ）の年と言われており、多くの人にとって成長と結実の時期となる年と言われています。

各労組の組合員とご家族の皆さんにとって、今年一年が実り多い年になりますようご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



連合石川かなざわ地域協議会

TEL : 076-232-7172 FAX : 076-263-3705
E-mail : renkana1@ishikawa.jtuc-rengo.jp

連合石川かなざわ地協・金沢地域LSC合同「2025年NEW・YEAR旗開き」開催 ～ 石川一心 繋がる心、芽生える未来～



1月27日（月）「石川一心 繋がる心 芽生える未来」をサブスローガンに、かなざわ地協・金沢地域ライフ・サポートセンター合同2025NEW YEAR旗開きを開催。ご来賓を含め126名の皆様にご参加いただき、ともに交流を図りながら、向こう1年間の被災地の復旧・復興と労働運動の前進、豊かで生きがいのある生活を実現するため、心を一つに合わせることを確認した。

また、今年の「福引き抽選会」は、能登半島地震復興支援として、河北地区の福祉施設や奥能



能登半島地震復興支援「福引き抽選会」



連合石川 福田会長 金沢市経済局 布島担当次長
登の商品を取り寄せて実施し、被災地に寄り添う気持ちを新たにしました。

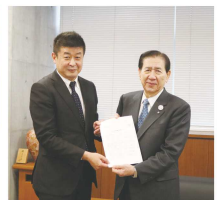
2025年度自治体要請について

かなざわ地協では、去る12月20日（金）に金沢市、同月26日（木）に津幡町・かほく市・内灘町に対し、2025年度政策制度要請を行った。当日は、当該の推薦議員の皆様のご同席のもと実施したが、各自治体において、真摯にご対応をいただいた。

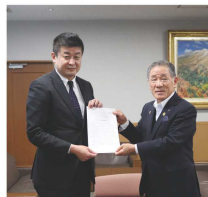
2～3月に受領する回答を注視するとともに、幹事会での評価を含め、次年度に向けて慎重に取り扱っていく。



金沢市・新保副市長



津幡町・矢田町長



かほく市・油野市長



内灘町・上出副町長

